

Syllabus Id	syl.-130366
Subject Id	sub.-130305751
更新履歴	20130401更新
授業科目名	工業英語 (Technical English)
担当教員名	鄭 萬溶(JEONG, ManYong)
対象クラス	電子制御工学科4年生
単位数	1学修単位(自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする)
必修/選択	必修
開講時期	前期
授業区分	基礎能力系
授業形態	演習
実施場所	D4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

グローバル化とともに経済活動をはじめとして様々な分野で個人の英語力は重要となっている。従来語学力がそれほど要求されていなかった工学系技術者においても、外国の企業や行政機関現場同士が意思疎通をする場面が増えてきたことから、英語力の向上が要求されるようになってきている。また、個人の英語力を測る尺度としてTOEICが最も一般的にされており、これを入社試験の一部として取り入れている企業も多い。そこで、TOEICトレーニングソフトを利用して基礎的英文法を復習しながら、英単語・熟語、リスニング、リーディングなどを学習する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

基礎英文法

学習・教育目標	Weight	目標	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成 工学専門知識の創造的活用能力の養成 国際的な受信・発信能力の養成 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
		A	
		B	
		C	
	◎	D	
		E	

D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. TOEICの問題形態を理解し、要求される基礎知識を整理しそれに基づいて復習できる。
2. 国際的な仕事の現場で活用できる英語表現を熟知し、実際使用できる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	TOEICとは	TOEICの重要性、TOEIC学習方法	
第2回	演習と解説	TOEICの問題の形態	○
第3回	演習と解説	文:5文型	○
第4回	演習と解説	動詞(文:5文型)	○
第5回	演習と解説	動詞(文:5文型)	○
第6回	演習と解説	to不定詞と分詞	○
第7回	演習と解説	to不定詞と分詞	○
第8回	中間試験		×
第9回	演習と解説	to不定詞と分詞	○
第10回	演習と解説	動名詞、分詞	○
第11回	演習と解説	動名詞、分詞	○
第12回	演習と解説	動名詞、分詞	○

第13回	演習と解説	助動詞、仮定法	○
第14回	演習と解説	助動詞、仮定法	○
第15回	演習と解説	助動詞、仮定法	○
第16回	前期期末試験		×
課題			
<p>プリントを配布する 提出期限: 出題した次の週の授業時間まで 提出場所: 教員研究室 オフィスアワー: 授業のある日の放課後1.5時間</p>			
評価方法と基準			
評価方法: 定期試験と課題、授業態度により評価する。			
評価基準: 試験80%、課題レポート20%			
教科書等	親TOEIC TEST英文法スピードマスター 安河内哲也著 Jリサーチ出版 補助教材有り		
先修科目	総合英語		
関連サイトのURL	http://www2.denshi.numazu-ct.ac.jp/nct/TOEIC/		
授業アンケートへの対応	授業アンケートの結果に基づいて授業の進め方などについて検討を行い、改善を図っている。		
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		